



	全体会	新倉ふれあいの森	白子・大坂ふれあいの森 (地域の会と協力)	樹林公園
6月	2日 コープみらい・みらい大学に協力 5日 身近な川一斉調査・富澤湧水保全 10日 お茶の水女子大学地理学巡検 12日 マップづくり検討会(白子コミセン13時~)	18日 定期保全	15日 大坂保全協力	7月21日 樹林公園 里山保全 ボランティア体験
7月	里山保全ボランティア体験(場所は富澤湧水と樹林公園)	16日 定期保全	13日 大坂保全 24日 富澤湧水等里山保全ボランティア体験	

1. 第9回(平成28年度)通常総会開催



松本武洋和光市長、大久保昭男教育長のご臨席をいただき、総会を開催することが出来ました。会場は南公民館に変更になり、開催できました。市民レベルの活動が実り昨年度「コープみらい地域かがやき賞」をいただき、コープみらいとの交流も進みます。昨年度は埼玉県助成事業「白子湧水群の里山保全ボランティア体験会」を実施、富澤湧水を含む斜面林が「白子宿特別緑地保全地区」に指定されたことなど、27年度の活動報告を行いました。28年度の事業としては、「新倉ふれあいの森の保全活用事業」及び「和光市自然環境マップづくり」事業等を確認し、了承されました。樹林公園の指定管理者が変わり、西武造園の運営課長斎藤正徳氏が来賓されました。総会後は樹林公園の視察会も行い爽やかな五月晴れの中案内することが出来ました。



2. 「春の野草観察とたけのこ掘り体験」大勢の親子が参加し土に親しみました



新倉ふれあいの森入り口の階段を上

4月23日赤池児童公園に集合し、整備された越戸川の遊歩道を通り水辺を観察、新倉ふれあいの森の入り口から階段を上がると、竹林が目の前に現れます。タケノコ掘りも、竹林を維持する大事な保全活動です。事前に目印をつけておいたタケノコは、約50センチにも伸びています。ここのタケノコは地上部が大きくても柔らかく

美味しいたけのこです。家族参加が多く、初めは当会のベテランの会員の指導で、子供たちに掘る体験をしてもらい、大人はそばで付き添いです。できるだけ子供たちに土に親しんでもらうように声掛けしました。大きなたけのこを掘り貴重な体験となりました。JCOMで活動が放映されました。



参加した子供たちと収穫した新倉タケノコ